

第58回 全日本弓道大会実施要項

- 主催 財団法人 全日本弓道連盟
 後援 京都府・京都府教育委員会・(財)京都府体育協会・京都市・京都市教育委員会・(財)京都市体育協会
 主管 京都府弓道連盟
 期日 平成19年5月3日(木)・4日(金)
 会場 『濟寧館弓道場』...京都市御苑内, 皇宮警察京都護衛署内
 (道順) 京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」下車, 徒歩10分。
 『武道センター弓道場』...京都市左京区聖護院円頓美町(平安神宮となり)
 (道順) JR京都駅から 番系統バスに乘車, 平安神宮前で下車, 徒歩5分。
 JR京都駅からタクシー利用で15分。
 内容 (1)種類 個人戦
 (2)種目 近的競技
 (3)種別 演武=範士・教士・錬士・有段者の4部
 競技=教士・錬士・有段者の3部

- 参加資格 (1)本連盟に所属する会員。
 (2)国際弓道連盟加盟団体に所属する会員。
 (3)各種別の資格は, 次のとおり。
 範士・教士・錬士の部.....本連盟の称号受有者
 有段者の部.....本連盟の四段以上の受有者(称号者は除く)
 本大会は, 大会役員ならびに競技役員も参加できる。

日程	月日	会場	日程	
5月3日(木)	濟寧館	第1射場	9:00	開会式/矢渡
		第2射場	10:00	錬士の部 演武・決勝/範士の部 演武 錬士の部 演武
5月4日(金)	濟寧館	第1射場	9:00	教士の部 演武・決勝
		第2射場		教士の部 演武
	武道センター	第1・第2射場	9:00	有段者の部 演武・決勝

演武・競技方法

- 演武は, 各部とも一手1回とする。
- 演武及び競技は, 「競技の間合」で行い, 1立(5人)6分程度とする。
- 範士の部は, 演武者の中から優秀者を選出する。
- 競技出場者は, 各部とも演武皆中者の中から選出する。
- 競技は, 射詰競射にて行う。36cm霰的を使用し, 3射目からは24cm星的を使用する。

表彰

- 範士の部は, 優秀者を表彰する。
- 表彰式は, 各会場ごとに行う。
- 教士・錬士・有段者の各部は, 5位までを表彰する。

競技規定 財団法人 全日本弓道連盟弓道競技規則による。

参加料 1名:2,000円

申込締切 (1)締切日 平成19年3月26日(月) 締切厳守
 と申込先 (2)申込先 〒150-8050 財団法人 全日本弓道連盟 宛
 TEL 03 3481 2387(代)
 FAX 03 3481 2398

県連締切 03月19日(月)

- 注意事項 (1)申込書は, 所定の用紙(月刊『弓道』平成19年2月号折込)を用い, 必要事項を楷書で判りやすく, 明確に記入すること。会員IDを必ず記入すること(全弓連会員のみ)。
 (2)申込書は, 参加料を添え, 所属地連を経て提出すること。所属地連の締め切りに十分留意すること。
 (3)地連会長の認許印及び参加料の添付のない申込書は受理しない。
 (4)出場者の服装は, 弓道衣または和服とする。
 (5)出場者は, 受付にて「ゼッケン」を受け取ること。(競技終了後に返却のこと)
 (6)出場者は, 必ず本連盟の「会員章」をつけて会場に出入りすること。
 (7)出場者は, 健康保険証を持参すること。
 (8)会場には駐車場がないので, 来場の際は公共機関等を利用のこと。

その他

- 大会申込書に記載される個人情報の利用目的について
 大会申込書の提出により, 以後の関係資料について下記取り扱いの旨, 承諾を得たものとする。
 (1)大会プログラムならびに事務連絡文書への記載(氏名, 所属地連, 称号・段位)
 (2)大会結果報告として, 関係団体宛文書及び本連盟機関誌・ホームページへの掲載。(氏名, 所属地連, 称号・段位, 写真)
 (3)上記に関して, 同意を得られない場合には, 本人の要求に基づき, 公開の停止を要求することができる。
 (4)報道機関, 写真業者等の写真撮影とその掲載等については, 主催者は関知しない。関係各法例を遵守する義務は, 写真撮影者にあることを主張する。

平成19年1月

財団法人 全日本弓道連盟